

保護者様

## 令和6年度 夏休みの応募課題（自由応募）一覧表

さいたま市立日進小学校  
校長 野上 正嗣

夏季休業中の自由応募の課題一覧表になります。応募要項、応募票は主催者ホームページまたは、日進小学校のホームページからご覧いただき、印刷してください。応募票の印刷ができない方は、必要な応募票をお渡ししますので、担任（学校）にご相談ください。

## 全ての課題は、8月28日（水）に学校へ持ってきてください。

	題名	主催等	備考・注意事項
1	JA共済全国 小・中学生書道コンクール	JA共済 <a href="https://social.ja-kyosai.or.jp/contest/">https://social.ja-kyosai.or.jp/contest/</a>	条幅の部：画仙紙半切（縦約136cm×横約35cm） 半紙の部：半紙（縦約33cm×横約24cm）
2	埼玉県・さいたま市 児童生徒科学教育振興展覧会	埼玉県理科教育研究会	A4レポート用紙片面8枚以内（裏面不可）。1枚目に学校名・氏名・学年を明記。
3	さいたま市理科教育研究発表会	さいたま市教育研究会理科専門部	形式自由。学校代表者は再研究・発表会参加必要。
4	第70回青少年読書感想文全国コンクール	全国学校図書館協議会・毎日新聞社 <a href="http://www.dokusyokansoubun.jp">http://www.dokusyokansoubun.jp</a>	1・2年生 800字以内 3～6年生 1200字以内
5	発明創意くふう展	さいたま市教育研究会家庭科専門部	サイズ 縦45cm・横80cm・高さ70cm以内 重さ 20kg以内
6	令和6年度さいたま市 明るい選挙啓発 ポスターコンクール	さいたま市選挙管理委員会 <a href="https://www.city.saitama.lg.jp/006/009/008/p114171.html">https://www.city.saitama.lg.jp/006/009/008/p114171.html</a>	画用紙四つ切もしくは八つ切 画材自由（紙や布も可） 参加賞有
7	2024年度MOA美術館 さいたま児童作品展	MOA美術館 さいたま児童作品展実行委員会 <a href="https://acegn.moaart.or.jp/contents.php?c=local_info&amp;id=ihpuh27llg6k">https://acegn.moaart.or.jp/contents.php?c=local_info&amp;id=ihpuh27llg6k</a>	画用紙四つ切・参加賞無 応募用紙を添付・作品返却有
8	第49回「ごはん・お米とわたし」 図画コンクール	JA埼玉県中央会	画用紙四つ切・参加賞有 校内審査有・作品返却無
9	小学生絵画展 in 宮原駅	特定非営利活動法人 子ども文化ステーション	画用紙A3サイズ（420mm×297mm）校内審査有・参加賞有・昨年度は作品返却無
10	大宮駅弁子ども絵画作品展	日進公園コミュニティーセンター	画用紙八つ切・参加賞有 作品返却無・チラシは1学期末に全児童に配付
11	第11回「心に残る給食の思い出」 作文コンクール	公益社団法人 日本給食サービス協会 <a href="https://www.jcfs.or.jp/event/sakubun.html">https://www.jcfs.or.jp/event/sakubun.html</a>	対象 4～6年生 原稿用紙3枚以内 PC等で作成の場合は1200字以内
12	インスタントラーメン レシピコンクール	一般社団法人 日本即席食品工業協会 <a href="https://www.instantramen.or.jp/event2024/">https://www.instantramen.or.jp/event2024/</a>	応募用紙有 今年度は4・6年生に配付済
13	第12回さいたま子ども短歌賞	さいたま市教育委員会 <a href="https://www.city.saitama.lg.jp/enquete/e003246.html">https://www.city.saitama.lg.jp/enquete/e003246.html</a>	応募用紙あり 1学期末に全児童に配付済

裏面もあります

## **応募課題における生成 AI の利用について**

読書感想文や日記、レポートや外部のコンクールへの応募などに取り組む際に生成 AI を活用する場合、以下のような点に留意してください。

- (1) 御家庭で生成 AI を利用する際には、年齢制限等の利用規約を遵守することを前提に、個人情報を入力したり、著作権に触れるものをインターネット上にアップロードしたりすることがないように、御指導ください。
- (2) 生成 AI の利用を想定していないコンクールの作品やレポートなどについて、生成 AI による生成物を作品として応募・提出することは、評価基準や応募規約によっては不適切な行為にあたり、選考や評価の対象とならないことがあります。
- (3) 課題に取り組む過程で、自らが作成した作品に足りない観点などを補充するために生成 AI を活用することも考えられます。その際、情報の真偽を確かめること（いわゆるファクトチェック）をするとともに、最終的な作品については、生成 AI とのやりとりの過程や引用・参考文献等を明示するようにしてください。
- (4) 自らの作成した文章を基に生成 AI に修正させた文章を「たたき台」としてよりよい文章へと推敲したり、事実関係に誤りがないか等、作品を評価したりする際に利用することにつきましては問題ございません。